

1 はじめに【熊本博物館と学校とのよりよい連携を求めて】

社会教育・生涯学習施設の一つである博物館と学校との連携（博学連携）は、新学習指導要領でもその必要性や重要性がさらに強調されており、当館におきましても多種多様な『学校教育支援事業』を体系化し、その周知と活用促進のための工夫・改善に努めているところです。

『学校教育支援事業』は、学芸員・研究員が要請に応じて各学校に赴く「ゲストティーチャー派遣授業（お出かけ事業）」と、館内の講堂や実験・工作室において展示資料（数点）の魅力や価値を伝える「館内学習支援活動（お迎え事業）」の2本柱からなります。

前述のとおり、この事業内容を多くの児童・生徒の皆さんや先生方に知っていただいて利活用につなげたいとの思いから、昨年度（令和2年度）は「派遣授業プログラム集」を改訂し（第3版）、本年度（令和3年度）はお迎え事業で用いる「館内学習プログラム集」を改訂いたしました（第2版）。

校外学習等で当館をご利用の際は、ぜひとも本プログラムを活用し、館内学習を深めていただけたら幸いです。

本書を介して熊本博物館を一層身近に感じていただき、よりよい「博学連携」ができますようにと願っています。

なお、当館の様々な取組につきましてはホームページでも紹介しておりますので、こちらをご覧ください（<https://kumamoto-city-museum.jp>）。

令和3年度（2021年度）
熊本博物館